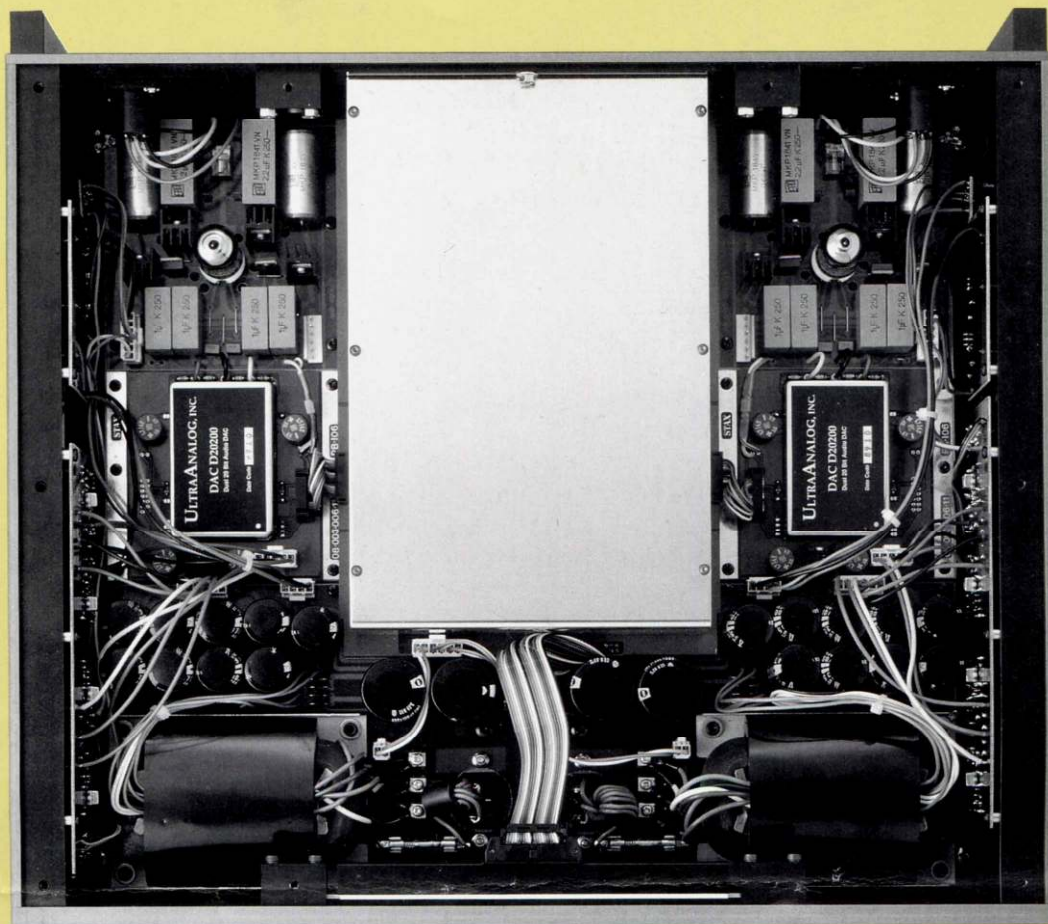


●CDプレーヤー/DAT/BS対応 デジタル/アナログプロセッサー  
(32kHz,44.1kHz,48kHz自動追尾)



# DAC-X1t

ステージのあの感動を、真空管が甦えらせてくれた。

半導体は、電子機器を作るうえで、もっとも主要な材料となってしまいました。  
CDプレーヤーをはじめとするデジタル・オーディオ機器が今日存在するのも、  
この半導体技術の進歩による賜物といえるでしょう。

にも拘わらず、D/Aプロセッサーに真空管を増幅素子として使用した理由。

それは音の良さ。そして、聴き手を暖かく包みこむ音場感。

まさに、音を追及した結果でした。真空管を使う必然性がそこにはあったのです。

感動のプレゼンテーション。

Digital Art: DAC-X1t.